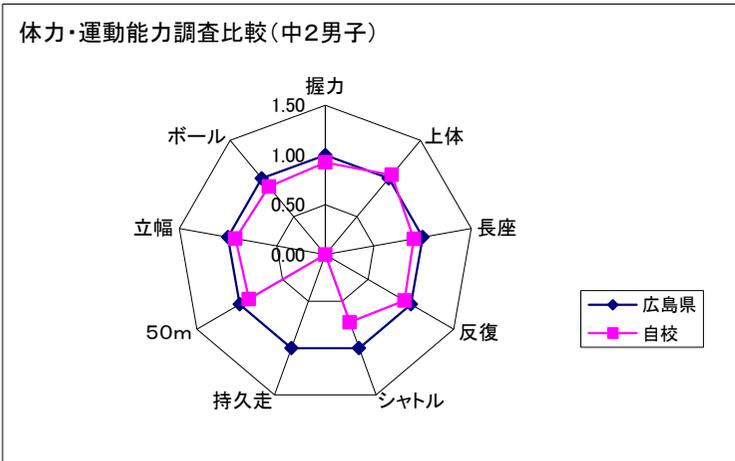
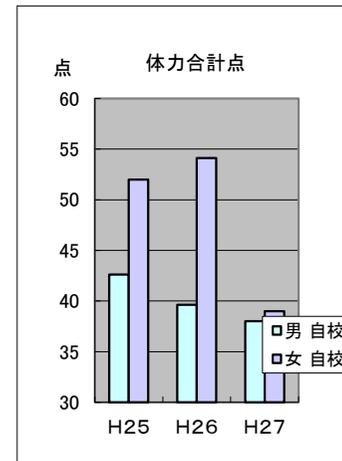
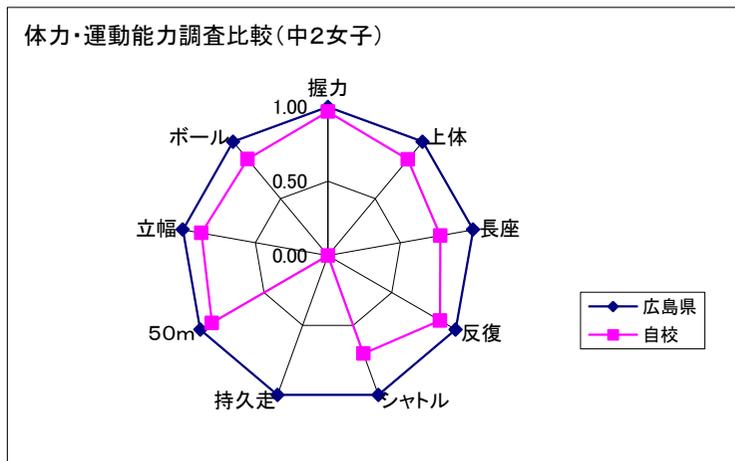


男子の体力合計点 学校 38 点 県平均 43.95 点



女子の体力合計点 学校 39 点 県平均 51.15 点



H27体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)  
 ・前年度と比較して男子は8.20→8.71, 女子は9.28→9.57と低下している。  
 ・全学年の男女ともに全国平均を大きく下回っており、授業外での取組も必要である。

②20mシャトルラン(中学校区の課題種目)  
 ・前年度と比較して男子は60.50→62.50と増加しており、女子は52.13→41.25と減少しているが、男女ともに全国平均、県平均を下回っている。  
 ・運動部に所属していない生徒は体育科の授業以外では運動する機会が少ない。

③ハンドボール投げ(自校の課題種目)  
 ・前年度と比較して、男子は23.00→19.00, 女子は16.63→11.50と大幅に減少している。  
 ・ハンドボール投げに必要な握力や腕力が低く、フォームにおいても、正しいフォームで投げられている生徒は少ない。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・保健体育科の授業の中でラダートレーニングやサーキットトレーニングを行い、ピッチ力を上げることに努める。 ・陸上(短距離走)の指導において、腕の振り方や身体の軸が揺れないように走る方法を指導するとともに、スタートにおける加速を意識した走り方を指導する。
②中学校区の課題種目 (20mシャトルラン)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・保健体育の授業で、ややきつと感じる運動を補強運動として全身持久力を高めるために単元の内容に即して工夫して行う。 ・地域のロードレースや駅伝大会に参加させ、2学期以降の放課後に1500m～3500m程度の持久走を全ての運動部に指導する。
③自校の課題種目 (ハンドボール投げ)	具体的な取組内容 ・保健体育科の球技の授業でボールを投げる活動を多く取り入れるとともに、正しいフォームで投げることができるように指導する。 ・保健体育科の補強運動や部活動のトレーニングの中で、背筋運動や腕立て伏せを積極的に行い、ボールを投げる運動に必要な筋力を養う。

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)